

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

|      |                  |
|------|------------------|
| 学校名  | 長岡工業高等専門学校       |
| 設置者名 | 独立行政法人国立高等専門学校機構 |

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

| 学部名  | 学科名          | 夜間・通信制の場合 | 実務経験のある教員等による授業科目の単位数 |                     |          |    | 省令で定める基準単位数 | 配置困難 |
|------|--------------|-----------|-----------------------|---------------------|----------|----|-------------|------|
|      |              |           | 全学<br>共通<br>科目        | 学部<br>等<br>共通<br>科目 | 専門<br>科目 | 合計 |             |      |
|      | 機械工学科        | 夜・通信      |                       | 16                  | 4        | 20 | 7           |      |
|      | 電気電子システム工学科  | 夜・通信      |                       |                     | 8        | 24 | 7           |      |
|      | 電子制御工学科      | 夜・通信      |                       |                     | 19       | 35 | 7           |      |
|      | 物質工学科        | 夜・通信      |                       |                     | 3        | 19 | 7           |      |
|      | 環境都市工学科      | 夜・通信      |                       |                     | 14       | 30 | 7           |      |
|      | 電子機械システム工学専攻 | 夜・通信      |                       | 8                   | 8        | 16 | 7           |      |
|      | 物質工学専攻       | 夜・通信      |                       |                     | 2        | 10 | 7           |      |
|      | 環境都市工学専攻     | 夜・通信      |                       |                     | 4        | 12 | 7           |      |
| (備考) |              |           |                       |                     |          |    |             |      |

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

|  |
|--|
| 機械工学科<br><a href="https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSubjects?school_id=16&amp;department_id=12&amp;year=2020&amp;lang=ja">https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSubjects?school_id=16&amp;department_id=12&amp;year=2020&amp;lang=ja</a><br>電気電子システム工学科<br><a href="https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSubjects?school_id=16&amp;department_id=13&amp;year=2020&amp;lang=ja">https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSubjects?school_id=16&amp;department_id=13&amp;year=2020&amp;lang=ja</a><br>電子制御工学科<br><a href="https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSubjects?school_id=16&amp;department_id=14&amp;year=2020&amp;lang=ja">https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSubjects?school_id=16&amp;department_id=14&amp;year=2020&amp;lang=ja</a> |
|--|

[k.go.jp/Pages/PublicSubjects?school\\_id=16&department\\_id=14&year=2020&lang=ja](https://k.go.jp/Pages/PublicSubjects?school_id=16&department_id=14&year=2020&lang=ja)  
物質工学科  
[https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSubjects?school\\_id=16&department\\_id=15&year=2020&lang=ja](https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSubjects?school_id=16&department_id=15&year=2020&lang=ja)  
環境都市工学科  
[https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSubjects?school\\_id=16&department\\_id=16&year=2020&lang=ja](https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSubjects?school_id=16&department_id=16&year=2020&lang=ja)  
電子機械システム工学専攻  
[https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSubjects?school\\_id=16&department\\_id=21&year=2020&lang=ja](https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSubjects?school_id=16&department_id=21&year=2020&lang=ja)  
物質工学専攻  
[https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSubjects?school\\_id=16&department\\_id=22&year=2020&lang=ja](https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSubjects?school_id=16&department_id=22&year=2020&lang=ja)  
環境都市工学専攻  
[https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSubjects?school\\_id=16&department\\_id=23&year=2020&lang=ja](https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSubjects?school_id=16&department_id=23&year=2020&lang=ja)

3. 要件を満たすことが困難である学部等

|           |
|-----------|
| 学部等名      |
| (困難である理由) |

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

|      |                  |
|------|------------------|
| 学校名  | 長岡工業高等専門学校       |
| 設置者名 | 独立行政法人国立高等専門学校機構 |

1. 理事（役員）名簿の公表方法

[https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/upload-file%20folder/02\\_%E4%BA%BA%E4%BA%8B/NewFolder/yakuinmeibo\(20200401\).pdf](https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/upload-file%20folder/02_%E4%BA%BA%E4%BA%8B/NewFolder/yakuinmeibo(20200401).pdf)

2. 学外者である理事の一覧表

| 常勤・非常勤の別 | 前職又は現職             | 任期                       | 担当する職務内容<br>や期待する役割 |
|----------|--------------------|--------------------------|---------------------|
| 常勤       | 熊本大学長              | 2016年4月1日～<br>2024年3月31日 | 理事長                 |
| 常勤       | 豊橋技術科学大学<br>理事・副学長 | 2020年4月1日～<br>2022年3月31日 | 研究・産学連携<br>情報システム   |
| 非常勤      | 東京大学教授             | 2014年4月1日～<br>2022年3月31日 | 男女共同参画推進            |
| (備考)     |                    |                          |                     |

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

|      |                  |
|------|------------------|
| 学校名  | 長岡工業高等専門学校       |
| 設置者名 | 独立行政法人国立高等専門学校機構 |

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

|  |   |
|--|---|
| <p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>   |   |
| <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>本校の教育理念、各学科及び各専攻の教育方針の目的を達成するため、各学科及び各専攻が示すディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーに則り、必要な授業科目を開設し、体系的に教育課程を編成している。次年度の授業担当教員を12月中旬までに決定し、授業科目の授業計画(シラバス)については、当然のことながら、学習指導要領等の改訂をはじめ社会要請に十分配慮した内容の授業計画を作成し、校内に設置した委員会等での確認を経て1月末までには、ホームページに公表している。また、専攻科では、本校が規定する「専攻科授業科目の履修等に関する規程」で授業の方法を、講義、演習、実験及び実習のいずれかにより又はこれらを併用により行うものとしている。</p> |   |
| 授業計画書の公表方法   | <a href="http://www.nagaoka-ct.ac.jp/zaikou/syllabus/">http://www.nagaoka-ct.ac.jp/zaikou/syllabus/</a> |
| <p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>  |   |

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

本校が規定する「履修及び学業成績の評価並びに進級及び卒業の認定に関する規程」には、まず、履修の要件として、授業科目及び特別活動は、当該総授業時間数の三分の二の出席をもって履修したものとしている。学業成績の評価は、授業科目については、シラバスに明示した評価方法(試験の結果やレポートを含む。)により100点満点で評価し、特別活動については、学級担任が出席状況及び活動状況等を判断し、単位修得の可否をもって評価することとしている。

単位修得を認定する基準は、1学年から3学年までの開設科目は、50点以上、4学年から5学年の開設科目は、60点以上としている。さらに進級の要件を、在籍する学年までに、必修科目の指定する単位数を修得していること、特別活動の単位を修得していること及び選択科目の指定する単位数を修得していることを基準として、指定する必修科目以外の必修科目と指定する選択科目以外の選択科目の未修得単位数の合計が4単位以下であることで1学年上の学年への進級を認めている。

また、本校が規定する「専攻科授業科目の履修等に関する規程」には、学業成績の評価は、科目ごとのシラバスに明示した評価方法(試験成績)及び出席状況並びに平素の学修状況を総合して次表の区分によって評価をおこなっており、単位の認定は、評点がA、B、Cに評価された授業科目について当該授業科目を修得したのものとして単位を認定している。

|    |        |       |       |      |
|----|--------|-------|-------|------|
| 評点 | 100~80 | 79~70 | 69~60 | 59以下 |
| 評定 | A      | B     | C     | D    |

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

履修科目の成績評価の評点(100点満点)から、履修した科目の平均を算出する。(4年生以上において平均点を算出する科目の範囲は、本校が規定する「履修及び学業成績の評価並びに進級及び卒業の認定に関する規程」の別表第1で定めている各学年で規定している単位数合計の値までの科目とする。そこで、選択科目を含める必要がある場合、選択科目については、評点の高い科目から規定している単位数合計の値となるまでの科目を抽出し、平均点を算出する。)

客観的な指標の  
算出方法の公表方法

<http://www.nagaoka-ct.ac.jp/zaikou/206.html>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本校が規定する「履修及び学業成績の評価並びに進級及び卒業の認定に関する規程」には、3学年の修了要件を3年以上在学し、かつ、3学年までに修得するものとして指定されている単位数のうち、未修得である単位数の合計が10単位以内である者は、3学年を修了したものとしている。卒業の認定方針は、各学科が示す必修科目の全ての単位を修得していること、特別活動の全ての単位（第1学年から第3学年までの学年ごとに30単位時間、合計90単位時間）を修得していること、各学科が指定している選択科目の単位数を充足していることを要件とし、認定に必要な単位数は、167単位以上（そのうち、一般科目については75単位以上、専門科目については82単位以上）である。また、専攻科の修了要件は、次表に掲げる修了に必要な単位数を修得しなければならない、かつ、専攻科に2年以上在学していなければならない。

| 専攻           | 科目 | 一般科目   | 専門科目    |         | 合計      |
|--------------|----|--------|---------|---------|---------|
|              |    |        | 専門共通科目  | 専門科目    |         |
| 電子機械システム工学専攻 |    | 8 単位以上 | 14 単位以上 | 34 単位以上 | 62 単位以上 |
| 物質工学専攻       |    | 8 単位以上 | 14 単位以上 | 34 単位以上 | 62 単位以上 |
| 環境都市工学専攻     |    | 8 単位以上 | 14 単位以上 | 34 単位以上 | 62 単位以上 |

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

学生便覧の202～203頁  
<http://www.nagaoka-ct.ac.jp/wp-content/uploads/2020/04/ea63180d55710bad339fe9576df2ff24.pdf>  
 ディプロマポリシー  
<http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

|      |                  |
|------|------------------|
| 学校名  | 長岡工業高等専門学校       |
| 設置者名 | 独立行政法人国立高等専門学校機構 |

1. 財務諸表等

| 財務諸表等        | 公表方法  |
|--------------|---|
| 貸借対照表        | <a href="https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/documents/zaimusyohyoH30.pdf">https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/documents/zaimusyohyoH30.pdf</a>             |
| 収支計算書又は損益計算書 | <a href="https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/documents/zaimusyohyoH30.pdf">https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/documents/zaimusyohyoH30.pdf</a>             |
| 財産目録         |   |
| 事業報告書        | <a href="https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/H30jigyohokokusho1.pdf">https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/H30jigyohokokusho1.pdf</a> |
| 監事による監査報告(書) | <a href="https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/kanjiikenH30.pdf">https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/kanjiikenH30.pdf</a>             |

2. 事業計画(任意記載事項)

|  |
|--|
| 単年度計画(名称:独立行政法人国立高等専門学校機構の年度計画 対象年度:令和2年度)   |
| 公表方法: <a href="https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/nendo-R2.pdf">https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/nendo-R2.pdf</a>                      |
| 中長期計画(名称:独立行政法人国立高等専門学校機構の中期計画 対象年度:平成31年(2019年)4月1日から令和6年(2024年)3月31日まで)  |
| 公表方法:<br><a href="https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/chuukikeikaku-4th.pdf">https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/chuukikeikaku-4th.pdf</a> |

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

|  |
|--|
| 公表方法:<br><a href="http://www.nagaoka-ct.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/2018_jisseki.pdf">http://www.nagaoka-ct.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/2018_jisseki.pdf</a> |
|--|

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

|       |
|-------|
| 公表方法: |
|-------|

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

|  |
|--|
| 学部等名 機械工学科   |
| 教育研究上の目的 (公表方法 : <a href="http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html">http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html</a> )   |
| (概要)<br>機械工学の主要分野である力学、材料、加工、熱・流体、設計、計測・制御のほか、情報、エレクトロニクスなどの基礎知識を修得し、それらを機械工学の問題解決に応用できる能力を身につけた技術者を育成します。<br>機械工学科では、力学解析、設計・加工、材料科学、計測・制御、熱・流体などの分野の問題解決に応用できる能力を身につけた技術者を育成します。   |
| 卒業の認定に関する方針<br>(公表方法 : <a href="http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html">http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html</a> )   |
| (概要)<br>理工系の基礎学力と機械工学を学び、以下の能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定します。<br>1. 人類の福祉と地球環境に配慮できる人間性と倫理観<br>2. 早期技術者教育の特長を生かし、科学と機械工学のより高度な専門知識とものづくりのスキルを身につけた、健全で創造性豊かな能力<br>3. コミュニケーション能力と国際的な視野を身につけ、地域産業界はもとより世界で活躍できる実践力<br>4. 機械工学分野における問題の発見と解決および研究・開発に対する自発的学習能力を身につけ、継続的に自己啓発のできる能力  |
| 教育課程の編成及び実施に関する方針<br>(公表方法 : <a href="http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html">http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html</a> )   |
| (概要)<br>機械工学の学力を基礎として、機械材料・材料力学に関する分野、生産工学・加工学に関する分野、流体工学・熱工学に関する分野、機械力学・制御に関する分野の教育課程のほかに、数学・英語・倫理等の一般科目、工学実験・情報処理等の実技スキル演習、そして卒業研究等の課題解決型の教育内容も総合的に含めて教授する教育課程を以下の科目を含めて編成する。<br>1. 機械工学の専門知識とものづくりのスキルを兼ね備え、情報技術を駆使できる能力を育成する科目<br>2. エンジニアリングデザイン演習およびインターンシップを経験することにより、課題の解決と技術の研究・開発を実行できる実践力を育成する科目<br>3. すぐれたコミュニケーション能力と国際的視野をもち、多様な価値観を理解できる能力を育成する科目 |
| 入学者の受入れに関する方針<br>(公表方法 : 公表方法 : <a href="http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html">http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html</a> )  |
| (概要)<br>各学科共通<br>1. 工作や「理科、数学、技術・家庭」の勉強が好きで、科学技術に興味を持っている人<br>2. 向上心があり、科学技術の分野で創造力を発揮したと考えている人<br>3. 人類の福祉や地球環境に配慮することができ、社会の発展のために役立ちたいと考えている人<br>4. コミュニケーション能力と国際的な視野を身につけ、地域や世界で活躍したいと考えている人  |



|   |
|---|
| 学部等名 電気電子システム工学科  |
| 教育研究上の目的 (公表方法 : <a href="http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html">http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html</a> )  |
| <p>(概要)</p> <p>電気電子工学の主要分野である電磁気学、電気回路、電気電子計測、電子回路、プログラミング、デジタル回路などの基礎知識を修得し、それらを電気電子工学の問題解決に応用できる能力を身につけた技術者を育成します。</p> <p>電気電子システム工学科では、情報通信、エネルギー、電子材料・デバイスなどの分野の問題解決に応用できる能力を身につけた技術者を育成します。</p>  |
| 卒業の認定に関する方針<br>(公表方法 : <a href="http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html">http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html</a> )  |
| <p>(概要)</p> <p>理工系の基礎学力と電気電子工学を学び、以下の能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人類の福祉と地球環境に配慮できる人間性と倫理観</li> <li>2. 早期技術者教育の特長を生かし、科学と電気電子工学のより高度な専門知識とものづくりのスキルを身につけた、健全で創造性豊かな能力</li> <li>3. コミュニケーション能力と国際的な視野を身につけ、地域産業界はもとより世界で活躍できる実践力</li> <li>4. 電気電子工学分野における問題の発見と解決および研究・開発に対する自発的学習能力を身につけ、継続的に自己啓発のできる能力</li> </ol>   |
| 教育課程の編成及び実施に関する方針<br>(公表方法 : <a href="http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html">http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html</a> )  |
| <p>(概要)</p> <p>電気電子工学の学力を基礎として、電気エネルギーの生成や活用に関する分野、情報通信技術の活用に関する、新しい電気電子材料の開発と生産に関する分野、電子デバイスの開発と応用する分野の教育課程のほかに、数学・英語・倫理等の一般科目、工学実験・情報処理等の実技スキル演習、そして卒業研究等の課題解決型の教育内容も総合的に含めて教授する教育課程を以下の科目を含めて編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電気電子工学の専門知識とものづくりのスキルを兼ね備え、情報技術を駆使できる能力を育成する科目</li> <li>2. エンジニアリングデザイン演習およびインターンシップを経験することにより、課題の解決と技術の研究・開発を実行できる実践力を育成する科目</li> <li>3. すぐれたコミュニケーション能力と国際的視野をもち、多様な価値観を理解できる能力を育成する科目</li> </ol> |
| 入学者の受入れに関する方針<br>(公表方法 : <a href="http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html">http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html</a> )  |
| <p>(概要)</p> <p>各学科共通</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 工作や「理科、数学、技術・家庭」の勉強が好きで、科学技術に興味を持っている人</li> <li>2. 向上心があり、科学技術の分野で創造力を発揮したと考えている人</li> <li>3. 人類の福祉や地球環境に配慮することができ、社会の発展のために役立ちたいと考えている人</li> <li>4. コミュニケーション能力と国際的な視野を身につけ、地域や世界で活躍したいと考えている人</li> </ol>   |

|   |
|---|
| 学部等名 電子制御工学科  |
| 教育研究上の目的（公表方法： <a href="http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html">http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html</a> ）  |
| <p>（概要）</p> <p>電子制御工学の主要分野である計測、制御、メカトロニクス、電気電子、コンピュータなどの基礎知識を修得し、それらを電子制御工学の問題解決に応用できる能力を身につけた技術者を育成します。</p> <p>電子制御工学科では、機械、制御、電気電子、情報処理、計測システムなどの分野の問題解決に応用できる能力を身につけた技術者を育成します。</p>   |
| 卒業の認定に関する方針<br>（公表方法： <a href="http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html">http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html</a> ）   |
| <p>（概要）</p> <p>理工系の基礎学力と電子制御工学を学び、以下の能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人類の福祉と地球環境に配慮できる人間性と倫理観</li> <li>2. 早期技術者教育の特長を生かし、科学と電子制御工学のより高度な専門知識とものづくりのスキルを身につけた、健全で創造性豊かな能力</li> <li>3. コミュニケーション能力と国際的な視野を身につけ、地域産業界はもとより世界で活躍できる実践力</li> <li>4. 電子制御工学分野における問題の発見と解決および研究・開発に対する自発的学習能力を身につけ、継続的に自己啓発のできる能力</li> </ol>   |
| 教育課程の編成及び実施に関する方針<br>（公表方法： <a href="http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html">http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html</a> ）   |
| <p>（概要）</p> <p>電子制御工学の学力を基礎として、電子制御工学の要素技術に関する分野、制御・メカトロニクスの構造に関する分野、電気電子回路やデバイス開発に関する分野、情報処理やプログラミングに関する分野の教育課程のほかに、数学・英語・倫理等の一般科目、工学実験・情報処理等の実技スキル演習、そして卒業研究等の課題解決型の教育内容も総合的に含めて教授する教育課程を以下の科目を含めて編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電子制御工学の専門知識とものづくりのスキルを兼ね備え、情報技術を駆使できる能力を育成する科目</li> <li>2. エンジニアリングデザイン演習およびインターンシップを経験することにより、課題の解決と技術の研究・開発を実行できる実践力を育成する科目</li> <li>3. すぐれたコミュニケーション能力と国際的視野をもち、多様な価値観を理解できる能力を育成する科目</li> </ol> |
| 入学者の受入れに関する方針<br>（公表方法： <a href="http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html">http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html</a> ）   |
| <p>（概要）</p> <p>各学科共通</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 工作や「理科、数学、技術・家庭」の勉強が好きで、科学技術に興味を持っている人</li> <li>2. 向上心があり、科学技術の分野で創造力を発揮したと考えている人</li> <li>3. 人類の福祉や地球環境に配慮することができ、社会の発展のために役立ちたいと考えている人</li> <li>4. コミュニケーション能力と国際的な視野を身につけ、地域や世界で活躍したいと考えている人</li> </ol>   |

|   |
|---|
| 学部等名 物質工学科  |
| 教育研究上の目的 (公表方法 : <a href="http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html">http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html</a> )  |
| (概要)<br>物質工学の主要分野である分析化学、無機化学、有機化学、材料科学、化学工学、物理化学、生物化学などの基礎知識を修得し、新しい材料の開発と生産、生物機能を応用した物質生産、クリーンエネルギーの開発、食品、環境保全などの分野の問題解決に応用できる能力を身につけた技術者を育成します。  |
| 卒業の認定に関する方針<br>(公表方法 : <a href="http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html">http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html</a> )  |
| (概要)<br>理工系の基礎学力と物質工学を学び、以下の能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定します。<br>1. 人類の福祉と地球環境に配慮できる人間性と倫理観<br>2. 早期技術者教育の特長を生かし、科学と物質工学のより高度な専門知識とものづくりのスキルを身につけた、健全で創造性豊かな能力<br>3. コミュニケーション能力と国際的な視野を身につけ、地域産業界はもとより世界で活躍できる実践力<br>4. 物質工学分野における問題の発見と解決および研究・開発に対する自発的学習能力を身につけ、継続的に自己啓発のできる能力   |
| 教育課程の編成及び実施に関する方針<br>(公表方法 : <a href="http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html">http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html</a> )  |
| (概要)<br>物質工学科では、材料工学と生物応用における共通の基礎科目に加え、新しい材料の開発と生産に関する分野、生物機能を応用した物質生産に関する分野、さらに数学・英語・倫理等の一般科目、工学実験・情報処理等の実技スキル演習、そして卒業研究等の課題解決型の教育内容も総合的に教授する教育課程を以下の科目を含めて編成する。<br>1. 物質工学の専門知識とものづくりのスキルを兼ね備え、情報技術を駆使できる能力を育成する科目<br>2. エンジニアリングデザイン演習およびインターンシップを経験することにより、課題の解決と技術の研究・開発を実行できる実践力を育成する科目<br>3. すぐれたコミュニケーション能力と国際的視野をもち、多様な価値観を理解できる能力を育成する科目 |
| 入学者の受入れに関する方針<br>(公表方法 : <a href="http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html">http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html</a> )  |
| (概要)<br>各学科共通<br>1. 工作や「理科、数学、技術・家庭」の勉強が好きで、科学技術に興味を持っている人<br>2. 向上心があり、科学技術の分野で創造力を発揮したと考えている人<br>3. 人類の福祉や地球環境に配慮することができ、社会の発展のために役立ちたいと考えている人<br>4. コミュニケーション能力と国際的な視野を身につけ、地域や世界で活躍したいと考えている人   |

|   |
|---|
| <p>学部等名 環境都市工学科</p>   |
| <p>教育研究上の目的 (公表方法 : <a href="http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html">http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html</a>)</p>  |
| <p>(概要)</p> <p>環境都市工学の主要分野である構造、材料、河川・海岸、地盤、土質、環境、都市計画などの基礎知識を修得し、それらを環境都市工学の問題解決に応用できる能力を身につけた技術者を育成します。さらに、河川、橋梁、道路、都市計画、衛生、地球環境などの分野の問題解決に応用できる能力を身につけた技術者を育成します。</p>  |
| <p>卒業の認定に関する方針</p> <p>(公表方法 : <a href="http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html">http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html</a>)</p>  |
| <p>(概要)</p> <p>理工系の基礎学力と環境都市工学を学び、以下の能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人類の福祉と地球環境に配慮できる人間性と倫理観</li> <li>2. 早期技術者教育の特長を生かし、科学と物質工学のより高度な専門知識とものづくりのスキルを身につけた、健全で創造性豊かな能力</li> <li>3. コミュニケーション能力と国際的な視野を身につけ、地域産業界はもとより世界で活躍できる実践力</li> <li>4. 環境都市工学分野における問題の発見と解決および研究・開発に対する自発的学習能力を身につけ、継続的に自己啓発のできる能力</li> </ol>   |
| <p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>(公表方法 : <a href="http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html">http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html</a>)</p>  |
| <p>(概要)</p> <p>環境都市工学の学力を基礎として、社会基盤や地球環境に関する正しい知識と視点を持ち、自然と調和した新しい都市や環境を創造する分野について教授するとともに、数学・英語・倫理等の一般科目、工学実験・情報処理等の実技スキル演習、そして卒業研究等の課題解決型の教育内容も総合的に含めて教授する教育課程を以下の科目を含めて編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境都市工学の専門知識とものづくりのスキルを兼ね備え、情報技術を駆使できる能力を育成する科目</li> <li>2. エンジニアリングデザイン演習およびインターンシップを経験することにより、課題の解決と技術の研究・開発を実行できる実践力を育成する科目</li> <li>3. すぐれたコミュニケーション能力と国際的視野をもち、多様な価値観を理解できる能力を育成する科目</li> </ol> |
| <p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>(公表方法 : <a href="http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html">http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html</a>)</p>  |
| <p>(概要)</p> <p>各学科共通</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 工作や「理科、数学、技術・家庭」の勉強が好きで、科学技術に興味を持っている人</li> <li>2. 向上心があり、科学技術の分野で創造力を発揮したと考えている人</li> <li>3. 人類の福祉や地球環境に配慮することができ、社会の発展のために役立ちたいと考えている人</li> <li>4. コミュニケーション能力と国際的な視野を身につけ、地域や世界で活躍したいと考えている人</li> </ol>   |

|  |
|--|
| <p>学部等名 電子機械システム工学専攻</p>   |
| <p>教育研究上の目的（公表方法：<a href="http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html">http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html</a>）</p>  |
| <p>（概要）</p> <p>電子機械システム工学の主要分野である機械系、電気系、電子制御系などの基礎知識をもとに、電気・電子機器・電子材料、デバイス、機械材料、機械設計、加工計測制御及びロボット等の理論と応用について深く学びます。そして、より高度な専門科目や、分野を融合した境界領域科目の学修・実験を通して、電子機械システム工学分野における問題の発見と解決及び研究・開発に対応できる能力を身につけた技術者を育成します。</p>   |
| <p>卒業の認定に関する方針</p> <p>（公表方法：<a href="http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html">http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html</a>）</p>   |
| <p>（概要）</p> <p>電気機械システム工学専攻では、理工系の基礎と電子機械システム工学を学び、以下の能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、修了を認定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人類の福祉と地球環境に配慮できる人間性と倫理観</li> <li>2. 早期技術者教育の特長を生かし、科学と電気機械システム工学のより高度な専門知識とものづくりのスキルを身につけた、健全で創造性豊かな能力</li> <li>3. コミュニケーション能力と国際的な視野を身につけ、地域産業界はもとより世界で活躍できる実践力</li> <li>4. 電子機械システム工学分野における問題の発見と解決および研究・開発に対する自発的学習能力を身につけ、継続的に自己啓発のできる能力</li> </ol>  |
| <p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>（公表方法：<a href="http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html">http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html</a>）</p>   |
| <p>（概要）</p> <p>機械工学、電気電子工学、電子制御工学の学力を基礎として、電気・電子機器・電子材料、デバイス、機械材料、機械設計、加工計測制御及びロボット等の理論と応用等の電子機械システム工学に関する分野について深く教授する教育課程を以下の科目を含めて編成します。ディプロマポリシーに基づき、これらの専門工学教育課程のほかに、数学・英語・倫理等の一般教育科目、工学実験・情報処理等のスキル演習、そして卒業研究等の課題解決型教育も総合的に含めて教授します。学習成果の評価は、試験や課題レポート等によって適正に行い、評価方法についてシラバスに記載している。</p> <p>また、試験・課題レポートに加え、ルーブリック等による自主的評価により、学生自身で到達目標に対する達成度が分かるようにしている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電子機械システム工学のより高度な専門知識とものづくりのスキルを兼ね備え、情報技術を駆使できる技術者を育成する科目</li> <li>2. エンジニアリングデザイン演習（EDE）及びインターンシップを経験することにより、課題の解決と技術の研究・開発を実行できる実践力を育成する科目</li> <li>3. 優れたコミュニケーション能力と国際的視野を持ち、多様な価値観を理解できる能力を育成する科目</li> </ol> |
| <p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>（公表方法：<a href="http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html">http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html</a>）</p>   |
| <p>（概要）</p> <p>各専攻共通のアドミッションポリシー</p> <p>次のような人が入学し、技術者を目指して学修してくれることを期待している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 科学及び工学の基礎を確実に修得している人</li> <li>2 知的な好奇心が旺盛で、科学及び工学分野で創造力を発揮したいと考えている人</li> <li>3 人類の福祉と地球環境に配慮することができる人間性と倫理観を持ち、よりよい未来の構築に寄与したいと思っている人</li> <li>4 コミュニケーション能力と国際的な視野を身につけ、地域産業界はもとより世界で活</li> </ol>  |

躍したいと考えている人

学部等名 物質工学専攻

教育研究上の目的（公表方法：<http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html>）

（概要）  
物質工学の主要分野である分析化学、無機化学、有機化学、材料科学、化学工学、物理化学、生物化学などの基礎知識をもとに、新しい材料開発と生産に関する材料工学及び生物機能を物質生産に応用する分野の生物工学について深く学びます。そして、より高度な専門科目や、分野を融合した境界領域科目の学修・実験を通して、物質工学分野における問題の発見と解決及び研究。開発に対応できる能力を身につけた技術者を育成することを目的とします。

卒業の認定に関する方針  
（公表方法：<http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html>）

（概要）  
物質工学専攻では、理工系の基礎と物質工学を学び、以下の能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、修了を認定する。

1. 人類の福祉と地球環境に配慮できる人間性と倫理観
2. 早期技術者教育の特長を生かし、科学と物質工学のより高度な専門知識とものづくりのスキルを身につけた、健全で創造性豊かな能力
3. コミュニケーション能力と国際的な視野を身につけ、地域産業界はもとより世界で活躍できる実践力
4. 物質工学分野における問題の発見と解決および研究・開発に対する自発的学習能力を身につけ、継続的に自己啓発のできる能力

教育課程の編成及び実施に関する方針  
（公表方法：<http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html>）

（概要）  
物質工学の学力を基礎として、新しい材料の開発と生産に関する材料工学及び生物機能を物質生産に応用する分野の生物工学について深く教授する教育課程を以下の科目を含めて編成する。ディプロマポリシーに基づき、これらの専門工学教育課程のほかに、数学・英語・倫理等の一般教育科目、工学実験・情報処理等のスキル演習、そして卒業研究等の課題解決型の教育内容も総合的に含めて教授する。学習成果の評価は、試験や課題レポート等によって適正に行い、評価方法についてシラバスに記載している。また試験・課題レポートで到達目標に対する達成度が分かるようにしている。

1. 物質工学のより高度な専門知識とものづくりのスキルを兼ね備え、情報技術を駆使できる技術者を育成する科目
2. エンジニアリングデザイン演習（EDE）及びインターンシップを経験することにより、課題の解決と技術の研究・開発を実行できる実践力を育成する科目
3. 優れたコミュニケーション能力と国際的視野を持ち、多様な価値観を理解できる能力を育成する科目

入学者の受入れに関する方針  
（公表方法：<http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html>）

|  |
|--|
| <p>(概要)</p> <p>各専攻共通のアドミッションポリシー</p> <p>次のような人が入学し、技術者を目指して学修してくれることを期待している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 科学及び工学の基礎を確実に修得している人</li> <li>2 知的な好奇心が旺盛で、科学及び工学分野で創造力を発揮したいと考えている人</li> <li>3 人類の福祉と地球環境に配慮することができる人間性と倫理観を持ち、よりよい未来の構築に寄与したいと思っている人</li> <li>4 コミュニケーション能力と国際的な視野を身につけ、地域産業界はもとより世界で活躍したいと考えている人</li> </ol> |
|--|

|   |
|---|
| <p>学部等名 環境都市工学専攻</p>  |
| <p>教育研究上の目的 (公表方法 : <a href="http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html">http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html</a>)</p>  |
| <p>(概要)</p> <p>環境都市工学の主要分野である構造、材料、河川・海岸、地盤、土質、環境、都市計画などの基礎知識をもとに、社会基盤に関する構造物や施設の計画立案、設計、建設、維持管理に加え、自然環境を維持するための環境工学に関する分野について深く学びます。そして、より高度な専門科目や、分野を融合した境界領域科目の学修・実験を通して、環境都市工学分野における問題の発見と解決及び研究・開発に対応できる能力を身につけた技術者を育成することを目的とします。</p>   |
| <p>卒業の認定に関する方針</p> <p>(公表方法 : <a href="http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html">http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html</a>)</p>  |
| <p>(概要)</p> <p>環境都市工学専攻では、理工系の基礎と環境都市工学を学び、以下の能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、修了を認定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人類の福祉と地球環境に配慮できる人間性と倫理観</li> <li>2. 早期技術者教育の特長を生かし、科学と環境都市工学のより高度な専門知識とものづくりのスキルを身につけた、健全で創造性豊かな能力</li> <li>3. コミュニケーション能力と国際的な視野を身につけ、地域産業界はもとより世界で活躍できる実践力</li> <li>4. 環境都市工学分野における問題の発見と解決および研究・開発に対する自発的学習能力を身につけ、継続的に自己啓発のできる能力</li> </ol>   |
| <p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>(公表方法 : <a href="http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html">http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html</a>)</p>  |
| <p>(概要)</p> <p>環境都市工学の学力を基礎として、社会基盤に関する構造物や施設の計画立案、建設、維持管理に加え、自然環境を維持するための環境工学に関する分野について深く教授する教育課程を以下の科目を含めて編成する。ディプロマポリシーに基づき、これらの専門工学教育課程のほかに、数学・英語・倫理等の一般教育科目、工学実験・情報処理等の実技スキル演習、そして卒業研究等の課題解決型の教育内容も総合的に含めて教授する。学修成果の評価は、試験や課題レポートによって適正に行い、評価方法についてシラバスに掲載している。また試験・課題レポートに加え、ルーブリック等による自主的評価により、学生自身で到達目標に対する達成度が分かるようにしている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境都市工学のより高度な専門知識とものづくりのスキルを兼ね備え、情報技術を駆使できる能力を育成する科目</li> <li>2. エンジニアリングデザイン演習 (EDE) 及びインターンシップを経験することにより、課題の解決と技術の研究・開発を実行できる実践力を育成する科目</li> <li>3. 優れたコミュニケーション能力と国際的視野を持ち、多様な価値観を理解できる能力</li> </ol> |

を育成する科目

入学者の受入れに関する方針（公表方法：<http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyou/37106.html>）

（概要）

各専攻共通のアドミッションポリシー

次のような人が入学し、技術者を目指して学修してくれることを期待している。

- 1 科学及び工学の基礎を確実に修得している人
- 2 知的な好奇心が旺盛で、科学及び工学分野で創造力を発揮したいと考えている人
- 3 人類の福祉と地球環境に配慮することができる人間性と倫理観を持ち、よりよい未来の構築に寄与したいと思っている人
- 4 コミュニケーション能力と国際的な視野を身につけ、地域産業界はもとより世界で活躍したいと考えている人

## ②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<http://www.nagaoka-ct.ac.jp/whatnews/244.html>



③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

| a. 教員数（本務者）  |        |             |     |    |    |           |     |
|--|--------|-------------|-----|----|----|-----------|-----|
| 学部等の組織の名称  | 学長・副学長 | 教授          | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手<br>その他 | 計   |
| —  | 3人     | —           |     |    |    |           | 3人  |
| 一般教育科  | —      | 9人          | 9人  | 0人 | 6人 | 0人        | 24人 |
| 機械工学科  | —      | 4人          | 4人  | 0人 | 1人 | 0人        | 9人  |
| 電気電子システム工学科  | —      | 2人          | 4人  | 0人 | 2人 | 0人        | 8人  |
| 電子制御工学科  | —      | 3人          | 5人  | 0人 | 1人 | 0人        | 9人  |
| 物質工学科  | —      | 4人          | 5人  | 0人 | 3人 | 0人        | 12人 |
| 環境都市工学科  | —      | 4人          | 5人  | 0人 | 3人 | 0人        | 12人 |
| 電子機械システム工学科  | —      | 人           | 人   | 人  | 人  | 人         | 人   |
| b. 教員数（兼務者）  |        |             |     |    |    |           |     |
| 学長・副学長   |        | 学長・副学長以外の教員 |     |    |    |           | 計   |
| 0人   |        | 51人         |     |    |    |           | 51人 |
| 各教員の有する学位及び業績<br>(教員データベース等)                               |        | 公表方法：       |     |    |    |           |     |
| c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）                         |        |             |     |    |    |           |     |
| 教務委員会は、教員及び技術職員（以下、「教員等」という。）の教育技術の強化に関し、次のような活動をする。       |        |             |     |    |    |           |     |
| (1) 教員等が行った教育技術を強化するための活動（以下、「強化活動」という。）の認定                |        |             |     |    |    |           |     |
| (2) 教員等が行った強化活動の認定結果の記録、集計、公表                              |        |             |     |    |    |           |     |
| (3) この申合せに従って行った教務委員会の活動に関する年間活動報告書の作成と公表                  |        |             |     |    |    |           |     |
| (4) 教員等の教育技術の強化を促すための活動の企画と実施                              |        |             |     |    |    |           |     |
| FD得点   |        |             |     |    |    |           |     |
| (1) 教員等の強化活動の認定は、教務委員会がFD得点を用いて行い、FD得点の大小によって強化活動の成果を評価する。 |        |             |     |    |    |           |     |

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

| a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等 |             |             |        |             |             |        |           |           |
|-------------------------|-------------|-------------|--------|-------------|-------------|--------|-----------|-----------|
| 学部等名                    | 入学定員<br>(a) | 入学者数<br>(b) | b/a    | 収容定員<br>(c) | 在学生数<br>(d) | d/c    | 編入学<br>定員 | 編入学<br>者数 |
| 機械工学科                   | 40人         | 43人         | 107.5% | 200人        | 206人        | 103%   | 若干名       | 2人        |
| 電気電子システム工学科             | 40人         | 42人         | 105%   | 200人        | 208人        | 104%   | 若干名       | 1人        |
| 電子制御工学科                 | 40人         | 41人         | 102.5% | 200人        | 202人        | 101%   | 若干名       | 0人        |
| 物質工学科                   | 40人         | 41人         | 102.5% | 200人        | 212人        | 106%   | 若干名       | 2人        |
| 環境都市工学科                 | 40人         | 42人         | 1.05%  | 200人        | 210人        | 105%   | 若干名       | 1人        |
| 合計                      | 200人        | 209人        | 104.5% | 1000人       | 1038人       | 103.8% | 人         | 6人        |
| 電子機械システム工学専攻            | 12人         | 25人         | 208.3% | 24人         | 55人         | 229.2% | 人         | 人         |

|          |     |     |      |     |     |        |   |   |
|----------|-----|-----|------|-----|-----|--------|---|---|
| 物質工学専攻   | 4人  | 7人  | 175% | 8人  | 15人 | 187.5% | 人 | 人 |
| 環境都市工学専攻 | 4人  | 10人 | 250% | 8人  | 23人 | 287.5% | 人 | 人 |
| 合計       | 20人 | 42人 | 210% | 40人 | 93人 | 232.5% | 人 | 人 |
| (備考)     |     |     |      |     |     |        |   |   |

b. 卒業生数、進学者数、就職者数

| 学部等名         | 卒業生数           | 進学者数             | 就職者数<br>(自営業を含む。) |               |
|--------------|----------------|------------------|-------------------|---------------|
|              |                |                  | 就職者数              | その他           |
| 機械工学科        | 35人<br>(100%)  | 22人<br>( 62.9%)  | 12人<br>( 34.3%)   | 1人<br>( 2.9%) |
| 電気電子システム工学科  | 40人<br>(100%)  | 22人<br>( 55.0%)  | 18人<br>( 45.0%)   | 0人<br>( 0%)   |
| 電子制御工学科      | 38人<br>(100%)  | 26人<br>( 68.4%)  | 9人<br>( 23.7%)    | 3人<br>( 7.9%) |
| 物質工学科        | 34人<br>(100%)  | 25人<br>( 73.5%)  | 9人<br>( 26.5%)    | 0人<br>( 0%)   |
| 環境都市工学科      | 40人<br>(100%)  | 28人<br>( 70.0%)  | 12人<br>( 30.0%)   | 0人<br>( 0%)   |
| 合計           | 187人<br>(100%) | 123人<br>( 65.8%) | 60人<br>( 32.1%)   | 4人<br>( 2.1%) |
| 電子機械システム工学専攻 | 20人<br>(100%)  | 9人<br>( 45.0%)   | 11人<br>( 55.0%)   | 0人<br>( 0%)   |
| 物質工学専攻       | 6人<br>(100%)   | 0人<br>( 0.0%)    | 6人<br>( 100%)     | 0人<br>( 0%)   |
| 環境都市工学専攻     | 9人<br>(100%)   | 2人<br>( 22.2%)   | 7人<br>( 77.8%)    | 0人<br>( 0%)   |
| 合計           | 35人<br>(100%)  | 11人<br>( 31.4%)  | 24人<br>( 68.6%)   | 0人<br>( 0%)   |

(主な進学先・就職先) (任意記載事項)

進学先

【学 科】長岡技術科学大学 49、長岡高専専攻科 42、新潟大学 10、豊橋技術科学大学 4、東京大学・東京工業大学・東北大学・千葉大学・神戸大学・東京農工大学 等 各 1  
【専攻科】長岡技術科学大学大学院 8、筑波大学大学院 2、電気通信大学大学院 1

就職先

【学 科】製造業(生産用機械器具)9、情報通信業 7、建設業 7、製造業(化学工業)6、運輸・郵便業 5 等  
【専攻科】製造業(化学工業)5、運輸・郵便業 2、情報通信業 2、専門技術サービス業 2、公務 2 等

(備考)

| c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項） |             |                 |           |           |           |
|--|-------------|-----------------|-----------|-----------|-----------|
| 学部等名                                     | 入学者数        | 修業年限期間内<br>卒業者数 | 留年者数      | 中途退学者数    | その他       |
|  | 人<br>(100%) | 人<br>( %)       | 人<br>( %) | 人<br>( %) | 人<br>( %) |
|  | 人<br>(100%) | 人<br>( %)       | 人<br>( %) | 人<br>( %) | 人<br>( %) |
| 合計                                       | 人<br>(100%) | 人<br>( %)       | 人<br>( %) | 人<br>( %) | 人<br>( %) |
| (備考)                                     |             |                 |           |           |           |

### ⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

| (概要)  |
|---|
| <p>本校の教育理念、各学科及び各専攻の教育方針の目的を達成するため、各学科及び各専攻が示すディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーに則り、必要な授業科目を開設し、体系的に教育課程を編成している。次年度の授業担当教員を12月中旬までに決定し、授業科目の授業計画（シラバス）については、当然のことながら、学習指導要領等の改訂をはじめ社会要請に十分配慮した内容の授業計画を作成し、校内に設置した委員会等での確認を経て1月末までには、ホームページに公表している。</p> <p>また、専攻科では、本校が規定する「専攻科授業科目の履修等に関する規程」で授業の方法を、講義、演習、実験及び実習のいずれかにより又はこれらを併用により行うものとしている。</p> |

### ⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

| (概要)  |                 |           |                      |                       |
|---|-----------------|-----------|----------------------|-----------------------|
| <p>本校が規定する「履修及び学業成績の評価並びに進級及び卒業の認定に関する規程」には、3学年の修了要件を3年以上在学し、かつ、3学年までに修得するものとして指定されている単位数のうち、未修得である単位数の合計が10単位以内である者は、3学年を修了したものとしている。卒業の認定方針は、各学科が示す必修科目の全ての単位を修得していること、特別活動の全ての単位（第1学年から第3学年までの学年ごとに30単位時間、合計90単位時間）を修得していること、各学科が指定している選択科目の単位数を充足していることを要件とし、認定に必要な単位数は、167単位以上（そのうち、一般科目については75単位以上、専門科目については82単位以上）である。また、専攻科の修了要件は、次表に掲げる修了に必要な単位数を修得しなければならない、かつ、専攻科に2年以上在学していなければならない。</p> |                 |           |                      |                       |
| 学部名   | 学科名             | 卒業に必要な単位数 | GPA制度の採用<br>(任意記載事項) | 履修単位の登録上限<br>(任意記載事項) |
|   | 機械工学科           | 167 単位    | 有・無                  | 単位                    |
|   | 電気電子システム<br>工学科 | 167 単位    | 有・無                  | 単位                    |
|   | 電子制御工学科         | 167 単位    | 有・無                  | 単位                    |
|   | 物質工学科           | 167 単位    | 有・無                  | 単位                    |
|   | 環境都市工学科         | 167 単位    | 有・無                  | 単位                    |
|   | 電子機械システム<br>工学科 | 62 単位     | 有・無                  | 単位                    |
|   | 物質工学専攻          | 62 単位     | 有・無                  | 単位                    |

|                            |          |        |                                       |    |
|----------------------------|----------|--------|---------------------------------------|----|
|                            | 環境都市工学専攻 | 62 単位  | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 単位 |
| G P A の活用状況 (任意記載事項)       |          | 公表方法 : |                                       |    |
| 学生の学修状況に係る参考情報<br>(任意記載事項) |          | 公表方法 : |                                       |    |

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 : <http://www.nagaoka-ct.ac.jp/shisetsu/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

| 学部名 | 学科名                  | 授業料<br>(年間) | 入学金     | その他                   | 備考 (任意記載事項)   |
|-----|----------------------|-------------|---------|-----------------------|---|
|     | 機械工学科                | 234,600円    | 84,600円 | 42,550円 ~<br>178,350円 | (内訳)<br>日本スポーツ振興センター災害<br>共済給付掛け金 1,550円<br>教科書教材費<br>23,000円~78,000円<br>合宿研修費<br>3,000円~34,000円<br>学生会費 10,000円<br>後援会費<br>留学生 6,000円<br>留学生以外<br>入会金 (第1学年次)<br>20,000円<br>会費 21,000円<br><br>寮生の場合 (年額)<br>寄宿料 個室 9,600円<br>複数人室<br>8,400円<br>寮友会費 4,200円 |
|     | 電気電子<br>システム<br>工学科  |             |         |                       |   |
|     | 電子制御<br>工学科          |             |         |                       |   |
|     | 物質工学<br>科            |             |         |                       |   |
|     | 環境都市<br>工学科          |             |         |                       |   |
|     | 電子機械<br>システム<br>工学専攻 | 234,600円    | 84,600円 | 29,550円 ~<br>58,850円  | (内訳)<br>日本スポーツ振興センター災害<br>共済給付掛け金 1,550円<br>教科書教材費<br>20,000円<br>学生会費 2,500円<br>後援会費<br>留学生 6,000円<br>留学生以外<br>会費 21,000円<br><br>寮生の場合 (年額)<br>寄宿料 個室 9,600円<br>寮友会費 4,200円   |
|     | 物質工学<br>専攻           |             |         |                       |   |
|     | 環境都市<br>工学専攻         |             |         |                       |   |

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

|  |
|--|
| a. 学生の修学に係る支援に関する取組  |
| (概要)<br>本校では、平成22年度から、苦手科目の克服や学力強化を目指し、本校の専攻科生が、専門科目、数学、化学、物理、レポート作成などを学科の学生に対して、附属図書館で希望する時間に学修サポートを行う制度を設けている。   |
| b. 進路選択に係る支援に関する取組   |
| (概要)<br>在校生に対し、「卒業・修了者の進路状況」を本校ホームページ ( <a href="http://www.nagaoka-ct.ac.jp/juken/41802.html">http://www.nagaoka-ct.ac.jp/juken/41802.html</a> と <a href="http://www.nagaoka-ct.ac.jp/juken/41804.html">http://www.nagaoka-ct.ac.jp/juken/41804.html</a> ) に公表している。<br>また、本校の教育研究に協力するとともに、本校及び会員相互の連携・交流を深めて産業技術の振興を図り、地域社会の発展に寄与することを目的として設立された技術協力会による |

「企業ガイダンス」を3学年対象に毎年開催している。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

実りある学生生活を送るため支援する学生相談室を設置し、学生や保護者を対象として、学校生活、心の健康、進路を気軽に相談できるよう、相談員(教員)をはじめ、学外から専門カウンセラーが常駐し、どんなことでも相談できる体制を整備している。  
また、特別学習支援制度を設け、身体的あるいはメンタル面で教育支援の必要な学生を複数人からなる教職員チームが適宜連携して適切な支援を行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法 : <http://www.nagaoka-ct.ac.jp/uncategorized/8354.html>